

高齢者福祉施設向け 救急ガイドブック



湖南救急医療連絡協議会
高度救急医療体制委員会



湖南広域消防局

《はじめに》

近年全国的に救急要請件数が増加し、湖南広域消防局の管内（草津市・守山市・栗東市・野洲市）でも同様に増加しており、高齢化社会の進展を背景に、高齢者福祉施設などからの救急要請件数も増加しています。

施設などで緊急事態が起こった場合、救急車が必要な施設利用者の方に1秒でも早く救急車を届けるためには、施設関係者による迅速な119番通報と的確な応急手当が必要不可欠であり、施設利用者の救命・予後改善に繋がる重要な「鍵」となります。

また、施設内で起こりやすい事故を未然に防止し（予防救急）、普段から相談のできる「かかりつけ医」を持つことや、何かの時に相談や受診ができる「協力病院」を持つことなど、もしもの事態に至る前に対応できる体制作りが重要となります。

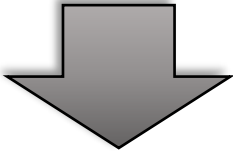
このガイドブックは、高齢者福祉施設などにおける事故防止と、緊急時の対応を支援し、施設利用者の方に緊急事態が起こった場合に、速やかに119番通報と応急手当を行い、救急隊との連携が円滑に進むよう作成したものです。安全に対する意識を高めていただき、利用者の方が安心して過ごせる施設づくりを一緒に目指して行きましょう。

目 次

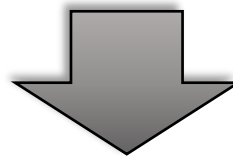
1. 救急対応手順フロー	1 ページ
2. 救急要請について	2 ページ
3. 救急車を呼ばなくても良いように	4 ページ
4. その他	4 ページ
5. 救急隊情報提供シートの提出について	5 ページ
6. マイナ救急について	5 ページ

1. 救急対応手順フロー

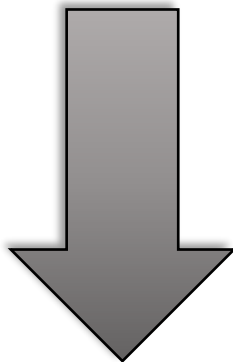
緊急事態発生



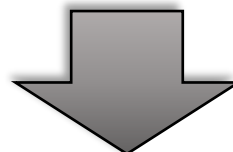
119番通報



応急手当 (AED)



救急隊による
救命処置



施設職員の同乗

- 緊急事態の発生を職員に知らせ、発生場所にできるだけ多くの人を集める
- 集まった職員で役割を分担する
 - ① 119番通報する人
 - ② 応急手当をする人
 - ③ AEDを取りに行く人
 - ④ 救急隊を誘導する人

●119番通報時に提供する情報

※指令員が必要な情報を聞き取りますので、質問に答えてください

- ① 住所 or 施設名
- ② 誰がどうしたのか
- ③ 傷病者の今の状態（意識・呼吸の有無）
- ④ 既往歴、掛かりつけ病院

- 応急手当が分からない場合は、指令員から口頭指導を受けることができます

- 救急隊に交代するまで継続してください

救急隊の誘導

- 救急隊に何が起こったのかを説明してください
- 救急隊に「救急情報提供シート」を提出

- 傷病者の状況が分かる方の同乗をお願いします
- 介護、看護記録、服薬情報を持参してください
- 搬送先病院への申し送りにご協力をお願いします

2. 救急要請について

救命に大切なことは、心停止の予防、早期認識と通報、一次救命処置（心肺蘇生法とAED）、二次救命処置と心拍再開後の集中治療（救急隊や医師などによる救命処置）が途切れることなく続くこと（救命の連鎖といいます）ですが、救命の連鎖を始めるためには、施設職員の方が異常事態を発見して迅速に119番通報を行うことが必要不可欠です。以下に、119番通報について知っておいていただきたい内容をまとめました。

（1）救急車が必要か判断に迷ったら

一般の方に分かりやすく救急車が必要か判断してもらうため、「ためらわずに救急車を呼んでほしい症状」として総務省消防庁が市民の方向けに、下記の分かりやすいイラストを案内しています。「成人版」「子供版」「高齢者版」とありますので、事前に見ておくことが大切です。

※イラストはあくまで参考です。このイラストの中に症状がなくても、いつもと何か違う緊急事態と思えばためらわずに119番通報をしてください。



救急お役立ち ポータルサイト
(総務省消防庁ホームページ)

救急安心センター事業（#7119）

急な病気やケガをしたとき、救急車を呼んだ方がいいか、今すぐに病院に行った方がいいかなど、判断に迷ったときに「#7119」に電話することで、救急電話相談を受けることができる救急安心センター事業（#7119）です。

#7119に寄せられた相談は、医師・看護師・相談員が電話口でお話を伺い、病気やケガの症状を把握して、救急車を呼んだ方がいいか、急いで病院を受診した方がいいか、受診できる医療機関はどこか等を案内します。



(2) 救急車を要請することになったら

- ① 必要に応じて応急手当を実施する
- ② 救急隊を誘導する（入口が施錠されている場合は開錠する）
- ③ 救急情報提供シートを準備する
※救急情報提供シートについては、6 ページを参照ください
- ④ 医療機関へ同乗する職員を選定する
（可能な限り発生時の状況が分かる方が同乗してください。
同乗できない場合でも早急に医療機関への来院をお願いします。）

(3) 救急車の要請方法

- ① 119 番通報する
- ② **火事** か **救急**（事故）かを伝える
- ③ 住所・救急車が向かう詳しい場所を伝える
- ④ 指令員の指示に従い、性別と年齢、急病（事故）の内容を伝える
※基本的には指令員が必要な情報を必要な順番でお伺いしますので、指令員の質問に答えるだけで大丈夫です。
※必要に応じて指令員が応急手当の方法を電話口で伝えます（口頭指導）ので、それに従って救急隊が到着するまで応急手当を実施してください。

(4) DNAR（心肺蘇生を行わない）という考え方

DNAR という言葉をご存じですか。Do Not Attempt Resuscitation の略で、末期のがんなど、あらゆる治療を講じても回復の見込みがない、あるいは救命処置を施しても回復の見込みがない状態の患者が、心停止したときに蘇生行為を行うか否か、人生の最終段階における医療の在り方について、本人や家族の意思を尊重するために事前に意思表示しておくことをいいます。

DNAR については、本人や医師の同意した署名が事前に必要であったり、急変時の連絡先（往診医師など）を決めておいたり、急変後往診医師が到着するまでの間、応急手当を実施するか否かなど、事前に決めておかなければならないことがあります。DNAR の意思表示がなされている施設利用者の方の意思を尊重するためには、その方の急変時の対応を施設や家族と調整して、周囲の人間が理解し、情報を共有しておく必要があります。

当消防局では救急要請された場合は、搬送基準に従い DNAR の有無に関わらず 心肺蘇生法を実施し病院へ搬送することになります、本人の希望する最期を迎えるためには、本人も含め周囲の方の DNAR に対する理解も必要不可欠となります。

DNAR には課題も多くあります。本人や家族の最後の意思を尊重するために、医療関係者、施設の方々、消防職員も一丸となり、制度への理解を深めていかなければなりません。

3. 救急車を呼ばなくても良いように【予防救急のすすめ】

予防救急とは、救急車が必要となるケガや病気をしないよう、日頃から注意し、心がける意識や行動のことをいいます。

毎年約4万人が「不慮の事故」で亡くなっています。その中には、注意することで防ぐことができる事故が含まれています。そのような不慮の事故を未然に防ぐために、当消防局では「予防救急のすすめ」というテキストを作成しました。

高齢者施設では、日頃から安全に配慮された施設管理がなされていることと思いますが、これを機会に今一度危ない箇所がないか施設内を点検し、「不慮の事故」に遭わないよう、ご協力をお願いします。



予防救急のすすめ
(湖南広域消防局ホームページ)

4. その他

救急医療について知っていただきたい、役に立つ情報をお知らせします。

(1) 応急手当を覚えましょう

消防署では応急手当の指導を行っています。救急訓練は様々な事情に合わせて受講することができますので、近くの消防署にお問い合わせください。

訓練の種類	訓練の時間	訓練の内容
救急訓練 (BLS)	60～90 分程度	自由に選択できます
普通救命講習 I	3 時間 (e-ラーニングや分割講習もあり)	心肺蘇生法、AED、窒息への対処、止血法、その他
救命入門コース	45～90 分	心肺蘇生法、AED

(2) 湖南広域消防局が認定する患者等搬送事業所

救急車を利用するほどでもないが、病院へ連れていきたいときや、一時帰宅する場合などに有償でサービスを受けることができます。サービス内容などについては、お近くの介護タクシー事業所にお問い合わせください。

〈事業所一覧〉

事業所名	連絡先	所在地
ハロー介護タクシー	077-563-9591	草津市野村四丁目
おでかけサポート松下	077-552-9234	栗東市小平井二丁目
福祉タクシーみずどり	080-9302-3210	栗東市御園
介護タクシーピース	090-5150-8864	草津市駒井沢
アザレア掛橋コネクション	0748-69-7437	草津市野路町

※サービス内容や料金は事業所へお問い合わせください

(3) 救急車の適正利用について

全国的に救急車の出動件数が大きく増加しており、令和6年には過去最多の救急出動件数を記録しています。当消防局では、入院の必要がない「軽症」が約7割を占めており、救急車の台数に限りがある現状では、本当に救急車を必要とする方へ1秒でも早い救急車の提供が難しくなっています。

救急車の利用については市民のみなさまの理解が必要不可欠です。ご理解とご協力をよろしくお願いします。

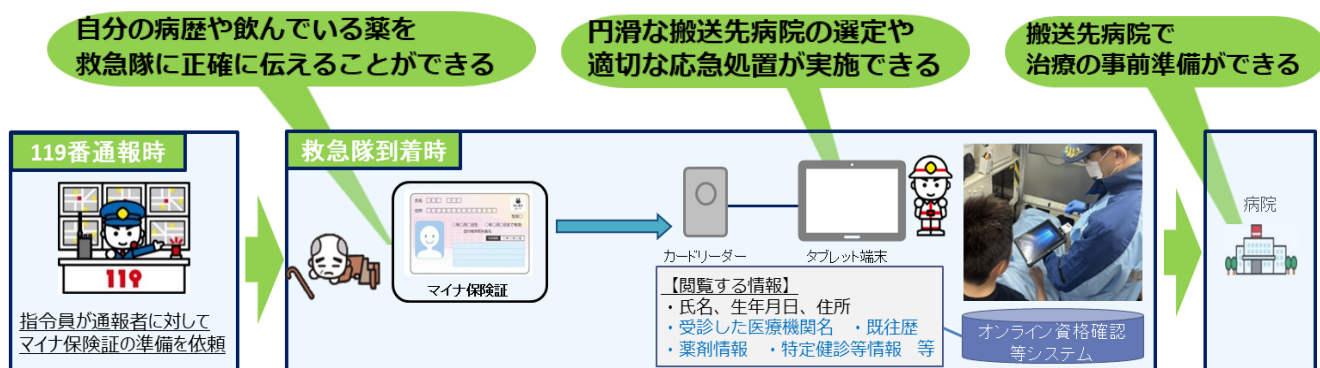
5. 救急情報提供シートの提出について

【救急情報提供シート】を作成しました。救急搬送の際に必要な情報を提供できるよう、上部の太枠内に必要事項をあらかじめ記載し、準備しておいてください。救急車要請後、応急手当、救急隊の誘導を優先し、可能であればシートに必要な情報を記載し、救急隊に手渡してください

※事態がひっ迫しているときは、応急手当や救急隊の誘導を優先してください。

6. マイナ救急について

救急隊員が傷病者のマイナ保険証を活用し、過去に受診した病院や処方されたお薬などの医療情報を閲覧します。傷病者や付き添われる方の負担を軽くするとともに、傷病者がより適切に処置を受けられるよう活用します。



救急情報提供シート

施設名		作成日	年 月 日
TEL		作成者	本人・家族・施設（ ）

【事前に記載いただく内容】

フリガナ			男・女	生年月日	年 月 日		
氏 名							
住所				TEL			
緊急連絡先	① 氏 名 (続柄)				② 氏 名 (続柄)		
	住 所				住 所		
	TEL				TEL		
既往歴等	現在治療中の病気 病名 ()				過去の病気 病名 ()		
内服薬				アレルギー			
かかりつけ 病院	病院名				ADL	歩行	自立・杖歩行・歩行器・車椅子・寝たきり
	診療科					要支援	1 ・ 2
						要介護	1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5
DNAR(蘇生を試みない) の意思はありますか？ あり (本人・家族) ・ なし							

【119番通報時に記載いただく事項】

「はい」「いいえ」「あり」「なし」は、○で囲ってください

※記載できる範囲でかまいません

●発症(受傷)を目撃(音を聞いた)しましたか？		はい ☐ いいえ ☐		日 時 分頃	
普段の状態を最後に確認したのはいつですか？				日 時 分頃	
通報時	意識	あり	なし	最終食事	日 時 分頃
	呼吸	あり	なし		
救 急 車 要 請 状 況	【利用者さんは何をしている時にどうなりましたか？】				
	意識	呼吸	回 / 分	脈拍	回 / 分
	SpO ₂	血圧	/ mmHg	体温	℃
	所 見	☐ 顔面蒼白 ☐ 嘔気・嘔吐 ☐ 冷や汗 ☐ 痛み(部位)			
		☐ 痙攣 ☐ 呼吸苦 ☐ いびき様呼吸 ☐ 失禁(大・小)			
☐ 麻痺() ☐ その他()					
救急車到着前の状況					

施設名	グループホーム〇〇〇	作成日	令和 〇 年 〇 月 〇 日
TEL	〇〇〇-△△△-□□□	作成者	本人・家族・施設 (施設長 〇〇)

【事前に記載いただく内容】

フリガナ	コナン タロウ		男・女	生年月日	昭和 〇 年 〇 月 〇 日	
氏 名	湖 南 太 郎					
住所	滋賀県栗東市小柿3丁目1-1			TEL	〇〇〇-△△△-□□□	
緊急連絡先	① 氏 名 (続柄)	湖 南 次 郎 (息子)		② 氏 名 (続柄)	湖 南 花 子 (妻)	
	住 所	滋賀県栗東市小柿3丁目1-1		住 所	滋賀県栗東市小柿〇丁目〇-□	
	TEL	〇〇〇-△△△-□□□		TEL	〇〇〇-△△△-□□□	
既往歴等	現在治療中の病気 病 名 (高 血 圧 、 糖 尿 病 、 不 整 脈)			過去の病気 病 名 (脳 梗 塞 、 胃 がん)		
内服薬	降圧薬、インスリン注射			アレルギー	なし	
かかりつけ 病院	病院名	〇〇総合病院		ADL	歩行	自立・杖歩行・歩行器 車椅子・寝たきり
	診療科	内科、内分泌科			要支援	1・2
					要介護	1・2・3・4・5
DNAR(蘇生を試みない) の意思はありますか？ あり (本人・家族) なし						

【119番通報時に記載いただく事項】

「はい」「いいえ」「あり」「なし」は、○で囲ってください

※記載できる範囲でかまいません

●発症(受傷)を目撃(音を聞いた)しましたか？		はい	5 日 10 時 0 分頃	
いいえ		普段の状態を最後に確認したのはいつですか？		
通報時	意識	あり なし	最終食事	5 日 7 時 0 分頃
	呼吸	あり なし		
救 急 車 要 請 状 況	【利用者さんは何をしている時にどうなりましたか？】			
	5 日 10 時頃にホールで談話中に、椅子から崩れるように倒れた。			
	意識	なし	呼吸	15 回/分
	脈拍	80 回/分	SpO ₂	95%
	体温	37.1℃	血圧	155/90 mmHg
	所見	☐ 顔面蒼白 ☐ 嘔気・嘔吐 ☐ 冷や汗 ☐ 痛み(部位)		
	☐ 痙攣 ☐ 呼吸苦 ☐ いびき様呼吸 ☐ 失禁(大・小)			
	☐ 麻痺() ☐ その他()			
救急車到着前の状況				
救急車の到着する前に、会話が出来る状態まで回復した。				

湖南広域消防局の情報はこちらから



ホームページ
はこちら



FACEBOOK
はこちら



YOUTUBEで
応急手当が
学べます。



INSTAGRAM
はこちら



令和7年10月1日運用開始
湖南救急医療連絡協議会
高度救急医療体制委員会
湖南広域消防局